

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年01月24日

計画の名称	九州横軸三県における広域的な観光活性化計画												
計画の期間	平成30年度～令和04年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	宮崎県												
計画の目標	九州横軸三県地域(長崎県、熊本県、宮崎県)は、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」(H27世界文化遺産登録)や「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」(世界文化遺産候補)等の貴重な文化遺産、さらに、ユネスコ世界ジオパーク、日本ジオパーク、ユネスコエコパーク、世界農業遺産に登録されている変化に富んだ地形や雄大な自然景観・その地で育まれた伝統文化等を有しており、これら観光資源を最大限活用すべく、各地方機関や観光団体、民間企業により観光活性化に向けたルート設定等を実施している。また、九州新幹線西九州ルート(武雄温泉～長崎 平成34年度完成目標)、九州横断自動車道延岡線(小池高山IC～北中島IC H30完成目標)、南九州西回り自動車道(津奈木IC～水俣IC H30完成目標)の段階的な開通と併せて既存交通網と連携強化を図ることで、九州横軸三県(長崎県、熊本県、宮崎県)の観光客の更なる増加が期待できる。これら活動と一体となって、九州横軸三県地域の交通拠点(新幹線駅、高速道路IC、空港、港湾等)と拠点施設(景勝地、歴史資料館、温泉街等)、拠点施設間のアクセス道路、観光案内及び観光PRなどを広域的に連携して整備することにより観光客数を増大させ、観光活性化を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	7,480	A	7,480	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28	H32末	H34末
1	【宮崎県・長崎県・熊本県 共通目標】 観光入込客数9,700万人(H28)から10,475万人(H34)に増加(775万人(8%)の増加)	9700万人	10318万人	10475万人
	【宮崎県・長崎県・熊本県 共通目標】 観光客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の観光入込客数 - H28の年間観光入込客数) / (H28年間観光入込客数)			
2	【宮崎県 単独目標】 観光入込客数400万人(H28)から420万人(H34)に増加(20万人(5%)の増加)	400万人	412万人	420万人
	【宮崎県 単独目標】 観光入込客数 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の観光入込客数 - H28の年間観光入込客数) / (H28年間観光入込客数)			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供
○長崎県、熊本県と連携 ○その他事項については、備考-1に記載。															

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都道府 県道	改築	(一) 岩戸延岡線・黒岩 工区	現道拡幅 L=0.5km	延岡市	■	■	■	■	■	600	—	
	A11-002	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都道府 県道	改築	(一) 上祝子網の瀬線・ 下鹿川工区	現道拡幅 L=4.0km	延岡市	■	■	■	■	■	650	—	
	A11-003	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都道府 県道	改築	(主) 竹田五ヶ瀬線・土 生工区	現道拡幅 L=0.8km	五ヶ瀬町	■	■	■	■	■	1,345	—	
A11-004	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都道府 県道	改築	(主) 竹田五ヶ瀬線・夕 塩工区	現道拡幅 L=1.3km	高千穂町	■	■	■	■	■	725	—		
A11-005	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都道府 県道	改築	(主) 緒方高千穂線・岩 戸1工区	現道拡幅 L=1.4km	高千穂町	■	■	■	■	■	300	—		
A11-006	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都道府 県道	改築	(主) 緒方高千穂線・岩 戸2工区	交差点改良 L=0.1km	高千穂町	■	■	■	■	■	150	—		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-007	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都道府 県道	改築	(一) 下野鹿狩戸線・岩 戸3工区	歩道橋設置 L=0.4km	高千穂町	■	■	■	■	■	660	—	
	A11-008	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都道府 県道	改築	(主) 日之影宇目線・赤 石工区	現道拡幅 L=6.0km	日之影町	■	■	■	■	■	741	—	
	A11-009	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	改築	(国) 国道503号・宮 之元工区	現道拡幅 L=1.0km	諸塚村	■	■	■	■	■	850	—	
	A11-010	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	都道府 県道	改築	(主) 諸塚高千穂線・赤 仁田工区	現道拡幅 L=2.0km	高千穂町		■	■	■	■	800	—	
	A11-011	提案	一般	宮崎県	直接	宮崎県	推進事 業	推進事 業	広域連携推進事業	広域観光PR	延岡市他		■	■	■	■	19	—	
		道路整備（A11-001～A11-010）にあわせ、拠点施設に人を呼び込むためのツアー造成やプロモーション等の取組みを行い、当該アクセス道路の活用を図る。																	
	A11-012	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	修繕	(国) 218号・津花3 号橋	塗装塗替 N=1箇所	五ヶ瀬町				■	■	100	—	
A11-013	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	修繕	(国) 218号・越次橋	塗装塗替 N=1式	五ヶ瀬町				■		100	—		

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
広域連携事業	A11-014	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	修繕	(国)218号・津花6号橋	塗装塗替 N=1箇所	五ヶ瀬町					■	100		—	
	A11-015	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	修繕	(国)218号・坂口橋	塗装塗替 N=1箇所	高千穂町					■	75		—	
	A11-016	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	修繕	(国)218号・西の内橋	塗装塗替 N=1箇所	高千穂町					■	55		—	
	A11-017	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	修繕	(国)218号・五ヶ瀬隧道	照明LED化 N=1箇所	五ヶ瀬町					■	40		—	
	A11-018	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	修繕	(国)218号・高千穂トンネル	照明LED化 N=1箇所	高千穂町					■	■	80		—
	A11-019	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	修繕	(国)218号・北方トンネル	照明LED化 N=1箇所	延岡市					■	■	90		—
											小計							7,480		

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						7,480		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02	R03	R04
配分額 (a)	176	334	669	680	777
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	176	334	669	680	777
前年度からの繰越額 (d)	0	102	206	401	388
支払済額 (e)	74	230	474	693	844
翌年度繰越額 (f)	102	206	401	388	321
うち未契約繰越額 (g)	8	27	58	35	4
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	4.54	6.19	6.62	3.23	0.34
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称：九州横軸三県における広域的な観光活性化計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○